

# 朝日町 議会だより

第51号

平成18年11月1日



第4回議会臨時会 正・副議長ほか組織議会決定

ページ  
2～3

第5回  
議会  
定例会

■ 17年度決算、条例制定、議員提出議案等	4
■ 一般質問 8名	5～12
■ 常任委員長報告	13
■ 議会日誌 7月～10月	14

PHOTO

三峯コスモス園祭り



発行編集 富山県朝日町議会だより編集委員会

# 朝日町議会組織決定！！

18年第4回議会臨時会が8月29日に開催され、議長、副議長などの選挙が行われ、議会組織が次のように決まりました。

また、人事案件、条例の制定案などが提案され、すべて同意、可決されました。

## 議長



住所 朝日町草野386番地  
氏名 吉江 守 熙

## 副議長



住所 朝日町南保5206番地  
氏名 大森 憲 平

## 議長就任あいさつ

議会議長 吉江 守熙

朝日町議会議長の要職を受け、身に余る光栄であります。

議長の職務は地方自治法では、議場の秩序維持、議事の整理、議会事務の統理、議会代表権が規程されております。

議会は主義主張理念の異なる議員の集合体であり、また言論の府であります。各議員の目標は、町発展と住民福祉教育であると受け止めております。

平成28年度から町の目標となる第四次総合計画がスタートするなか、朝日町の将来像「人と自然、心と心、ふれあうまち あさひ」の目標実現のために、議会一丸となり、着実に努力を重ねていかなければならないと思っております。

時代は今までの画一化から魅力的な地域づくりに向けて走り始めており、多様化する住民のニーズに応えるよう執行機関と一体となって、職責を全うする覚悟でありますので、皆様方の一層のご指導をお願い申し上げ挨拶いたします。

(◎)委員長 ○副委員長

## 総務産業常任委員会

- ◎水野 仁士 ○長崎 智子
- 吉江 守熙 齋田 誼
- 脇 四計夫





民主教育常任委員会  
 ◎水島 一友 ○梅澤 益美  
 稲村 功 中陣 將夫  
 大森 憲平



議会運営委員会  
 ◎中陣 將夫 ○稲村 功  
 梅澤 益美 大森 憲平

日本海関東首都圏連絡

道路構想対策特別委員会

- ◎吉江 守熙 ○大森 憲平  
 稲村 功 齋田 誼  
 中陣 將夫 梅澤 益美  
 水島 一友 脇 四計夫  
 長崎 智子 水野 仁士

新川広域圏事務組合議会議員

- 吉江 守熙 廣田 誼

新川地域介護保険組合議会議員

- 吉江 守熙 梅澤 益美

人事案件

- 朝日町監査委員を選任するため  
 同意を求める件  
 朝日町境1346番地  
 水島一友氏(58歳)の選任に  
 同意

条例制定等

- 指定管理者制度に伴う関係条例  
 の整理に関する条例制定の件

その他の案件

- 公の施設の指定管理者指定の件  
 ◆指定の期間  
 平成28年9月1日～  
 平成31年3月31日まで

施設の名称	指定管理者
朝日町文化体育センター施設	(財)朝日町文化・体育振興公社
朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場	(財)朝日町文化・体育振興公社
朝日町立生涯学習館	(財)朝日町文化・体育振興公社
朝日町立ふるさと美術館	(財)朝日町文化・体育振興公社
朝日町デイ・サービスセンター	社会福祉法人 有機会
朝日町環境ふれあい施設	(株)らくち～の

17年度決算		千円単位：切捨て
一般会計（支出済額）	64億9,861万円	
特別会計（支出済額）	82億4,998万円	
国民健康保険会計	14億4,930万円	
老人保健医療事業会計	23億4,105万円	
簡易水道会計	3,480万円	
下水道会計	6億4,823万円	
南保外二地区用水会計	305万円	
奨学資金会計	92万円	
病院事業会計（収益的支出）	37億7,259万円	
18年度補正予算額		千円単位：切捨て
一般会計（補正3号）	4,278万円	

# 平成17年度決算・平成18年度補正 予算・条例の制定や改正案件など 議案を認定・可決

## 条例制定等

- 朝日町国民保護協議会条例制定の件
- 朝日町国民保護対策本部及び朝日町緊急対処事態対策本部条例制定の件
- 朝日町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例一部改正の件
- 朝日町国民健康保険条例一部改正の件
- 朝日町重度心身障害者等の医療費助成に関する条例一部改正の件

## その他の案件

- 小学校跡地整備事業 南保地区多目的施設建設工事請負契約締結に関する件

18年第5回議会定例会は、9月13日から25日までの13日間に行われ開催され、17年度の決算や18年度の補正予算、条例の制定・条例の改正案などが審議され、原案のとおり認定・可決されました。また議員提出議案が2件提案され、可決されました。

## 人事案件

- 埋蔵文化財保存活用整備事業（仮称）埋蔵文化財展示収蔵施設工事請負契約締結に関する件
- 朝日町農業委員会の委員推薦の件

朝日町三枚橋282番地  
齋田 誼氏（63歳）の選任に  
同意

## 議員提出議案

- 郵政民営化における泊郵便局の現状を維持することを求める意見書
- 道路整備財源に関する意見書

## 請願・陳情

- ◆採択となったもの
- 「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情について
- ◆継続審査となったもの
- トンネルじん肺根絶の抜本的対策を求める陳情書



## 自治振興会の育成について

長崎 智子

**質問** ①自治振興会に対して、行政側はどこまで関与するのか。

②災害などの異常時において、指導・育成はどうするのか。  
③年ごとに人が入れかわる可能性のある自治振興会に対して、指導はどうするのか。

**答弁** 竹内総務部長 ①それぞれ地区においては、人口や地形、歴史など、その地区ならではの特性や、課題もさまざまなので、町では各地区在住の町職員を地区の担当とし、画一的ではなく、地区の実情に即した支援ができるよう努めている。

②災害時などの対応は、各自治振興会に、安全や安心に携わる防災担当が設置されており、町と自治振興会がお互いに連携を図りながら災害に対して取り組むことが重要であると考えます。

③役員が変更になっても、連絡な



自主防災組織先進地視察（高岡市吉久）

どに支障がないように、今後もしながら育成・支援に努めたい。

## 防災対策について

**質問** ①全地区に自主防災組織が設立されたか。

②備蓄用食材及び資機材の整備状況と、その保管場所はどこか。

③広域避難場所の標示は直したか。

④避難場所の一覧表や、家庭用ハンドブックの作成はどうなったか。

**答弁** 竹内総務部長 ①自主防災組織における地域防災力の向上を図るため、30万円を上限に防災資機材の整備に対する「朝日町自主防災組織補助金」を創設し、支援を行っている。

自主防災組織は、現在3組織が設立され、加入世帯は680世帯で、町の全世帯の2.2%の組織率となっており、また近く6組織が設立する予定である。

②アルファ米、ミネラルウォーター、災害救助用毛布、防水シートの購入事務を進めており、役場庁舎内に保管することになっている。

また、日本赤十字社富山県支部より救護用テントの配備を受け、各地区へ1張りずつ配付した。

③消防庁では、新設する広域避難場所の標示は、極力新しい表示とし、既設の標示は可能であれば、新しい標示にするよう指導をして

いるが、新設・既設とも、その使用についての法的拘束力や義務はないので、町内にある標示については、更新時に書き換えをしたい。

④避難場所の選定は、住民の安否確認をする「一時避難場所」を地区で選定し、その次に避難する公共的な施設の「地区避難場所」は、自治振興会と協議しながら選定するので、防災ハンドブックについては、その上で検討したい。

## 第2児童館の新設について

**質問** 子どもたちには、平等に恩恵をこうむるよう配慮すべきで、第2児童館をお願いしたいが。

**答弁** 吉田民生部長 少子高齢化の進展する社会的な勢いあつては、核家族化、女性の就労意欲と社会進出の機会の増大、地域のきずなと連帯の希薄化など、家庭と地域における子どもの養育機能の低下が危惧されており、地域社会が一体となって親の子育てを支援していく必要性が増してきている。

子どもの安全な遊びの場としては、各地区の公共的な施設の利用も考えられ、自治振興会を通じて意見を聞きながら、よりよい環境づくりと子育て支援に努めたい。

住民要望について

大森 憲 平

質問

①一般県道山崎草野線と一般県道山崎泊線の、拡幅要望の3カ所の現在の状況は。

②田園地帯の道路に、土の塊等を見かけるが、どう見ているか。

答弁

朝倉産業部長

①県道山崎草野線の桜町地内から主要地方道朝日宇奈月線までの約200メートルは、地元関係者と協議を行ったが、合意に至らなかった経緯があり、その後、地元町内会の要請を受け、入善土木事務所や沿線



一部暗渠化された県道山崎草野線(桜町地内)

関係者と協議を行った結果、用水路を暗渠化することで合意し、改良を進めている。

県道山崎泊線の長野交差点からスーパー農道までの約220メートルは、県へ重要要望事項として要望しているが、事業化に至っていない。

谷地内の笹曳橋から岩井谷地内までの区間約470メートルは、一部地権者の理解が得られず、事業を中断している。



未改良の県道山崎泊線(長野地内)

②当事者が清掃・撤去することが当然で、生産組合長会や農事懇談会などを通じて、農作業後の路面清掃について周知を図りたい。

再質問

用水に蓋をして終わるのか。

再答弁

現時点で、精一杯の改良と思っている。

新幹線沿いの農免道路の2期工事の認可を早期にもらい、事業化を図ることが、桜町地内の交通緩和にもつながると思うので、事業の促進にも努めたい。

再々質問

県道山崎泊線の長野交差点からスーパー農道までの区間は、新幹線が同地内を通る協議の中で要望しており、早急にお願したい。

有害鳥獣について

質問

①有害鳥獣における被害状況と被害金額、駆除状況は。  
②昨年の秋ごろから山沿いによく猪が出没していると聞くが、先進地視察は行ったか。  
③有害鳥獣対策協議会の活動と、助成はどうなっているか。

答弁

朝倉産業部長

①カラスは田植後の苗の踏み荒らし、猿やハクビシンは、野菜など農作物の食害被害を多く占めている。

4月から9月2日現在までの銃器による捕獲数は、カラスが168羽、猿が3頭である。

被害額は、自家消費野菜の被害が大半で、算出は困難である。

②今年に入り、南保、笹川、山崎地区で出没跡を確認しており、この6月に有害鳥獣捕獲隊員と町の担当者で、石川県小松市を視察し、その情報を各地区の有害鳥獣対策協議会に説明・報告した。

また、猟友会の協力を得て捕獲おりを2基準備したので、出没状況等にに応じて設置したい。

③山崎、笹川・泊一区、宮崎、南保地区に設立されており、主な活動内容は、里山空間整備事業としての下刈り作業や、管内の有害鳥獣対策の現地視察研修などを行っており、運営費として年間5万円の助成を行っている。

再質問

猪の習性と、また防護さくなどを考えているか。

再答弁

警戒心が非常に強く、日中はあまり姿を見せず、銃器の使えない夜に行動する習性がある。さく等は、範囲や、どんなやり方が効果的なのか、検討する必要があるか考えている。

再々質問

猿や猪に対する電気防護さくは、お金もかかるようだが、鋭意研究してほしい。

# 広葉樹の立ち枯れについて

水島 一友

**質問**

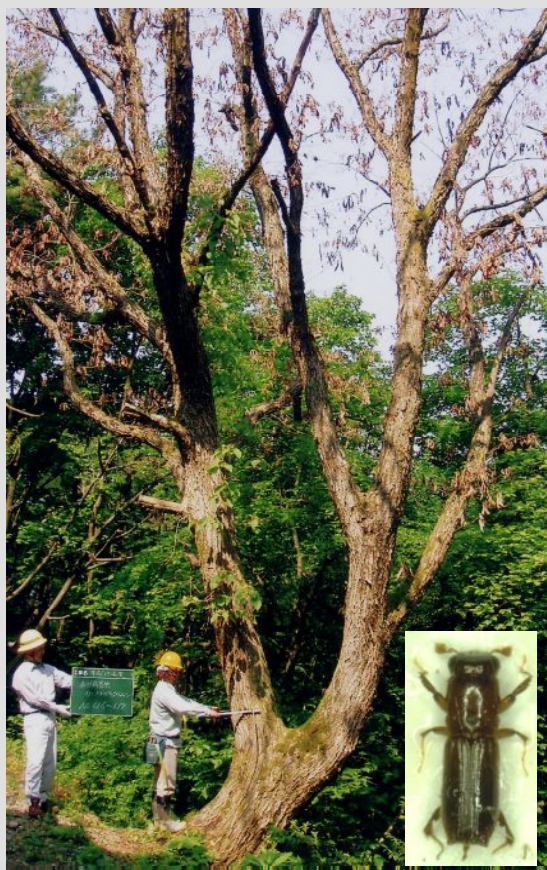
山間部のミズナラ等の立ち枯れについて、今年10月議会では、被害状況の確認と被害拡大防止に努めるとあるが、城山から境内にかけて、高速道路境パーキング付近と山崎地内の山間部で、立ち枯れが本年、特に目立つ。

カシノナガキクイムシが原因と言われており、早急な対策が必要と考えるが。

**答弁** 朝倉産業部長

カシノナ

ガキクイムシは成虫になると5ミリ程度の大きさで、幼虫はミズナラなどの樹木に2ミリ程度の穴をあけ侵入し、みずから持ち込んだナラ菌の増殖により、樹木の導管を詰まらせ、立ち枯れを起こす。被害拡大防止のため、成虫になって飛び出す前に、被害に遭った立ち木を切り倒し、1メートル程度に切断したものを集積してビニールシートで包み、薫蒸処理をし



立ち枯れしたナラとカシノナガキクイムシ（雄）

ているが、被害場所は急峻な山間地で、大半が人的作業となり対策に苦慮している。

本年度の処理状況は、今年度に被害を確認した3本のうち、城山周辺の本を薫蒸処理したが、新たな被害木も確認した。

今後とも豊かな森を維持するために、被害の拡大防止を県や関係機関などと連携し対処したい。

**再質問**

大変難しい問題だが、ぜひ早急な対策をお願いしたい。

## 県立高校再編について

**質問**

①県立高校将来構想策定委員会は約2年後の高校配置を、現行から7〜8校減らし、30〜36校程度とする基本方向案とした。

泊高校は、今年3月をもって商業科を終止し、今年4月から1学年3学級となり、1学年4〜8学級が望ましいとした基本方向案から外れ、小規模校の扱いとなるが、現在、県立高校の再編議論はどこまで進んでいるのか。

②県立高校教育形態等検討小委員会はそのような委員会か。

**答弁**

稲荷教育委員会事務局長

①今年5月に、「富山県県立学校教育振興計画策定委員会」を学識経験者、学校教育関係者、保護者、

産業・自治体関係者5名で組織し、  
①生徒の多様な個性や学習ニーズに対応した県立高校の教育の充実  
②生徒減少期における県立高校の望ましい規模や配置など、学習環境の整備  
③県立特殊教育諸学校と県立高校の連携、県立学校における障害のある児童・生徒の学習環境の整備に関することなどについて、来年3月をめどに検討することになっている。

この組織には、「学科構成等検討小委員会」「県立高校教育形態等検討小委員会」「特別支援学校等検討小委員会」「地域小委員会」の4つの小委員会が設置されている。

②この委員会は、学識経験者、学校教育関係者、保護者、産業界関係者等2名で組織され、県立高校の規模と配置に関することや、中学校・高校6年一貫教育による人間教育を目指した中高一貫教育校や、ものづくり人材の育成を目指したその中核となる高校、またこれからの時代に求められる能力等の伸長を目指した学科を軸とした高校などの設置についても検討している。

**再質問**

いろんな県立高校の問題に対して情報が入れれば、その都度教えてほしい。

## 公共バスについて

脇 四 計 夫

**質問** 高齢者には、公共バスは貴重な交通手段になっている。

買い物や病院に行くにも、タクシーに頼らざるを得ない地域が少なくないので、公共バスの運行を広げる必要があるのではないかと。

道路の狭い地域でも運行できる小型のバスを購入する気はないか。

**答弁** 朝倉産業部長 公共バスの運行は、5路線で週35便の運行をしており、乗客の大半は高齢者で、生活の足として定着している。

公共バスの運行計画は、利用者のニーズを踏まえながら効率的なバスの運行に努めており、例えば朝の泊駅からあさひ総合病院までのルートの見直しなど、軽微な変更については、利用者の動向を見きわめながら、随時対応している。バスの新規購入や、新たな路線拡大など、現時点での公共バスの事業拡大は困難である。

**再質問** バス1台で、これだけの運行をしている状況では、町民の利便性を図ることは困難であり、



泊駅前を運行する公共バス

台数を増やすしかない。

公共バスの通っていない地区の人は、「買物の代金や、病院の支払いよりも、タクシー代が高くつく。」と切実に訴えている。

町民の立場、住民の立場に立つのであれば、補正予算を組んでもやるべきと思う、要望とする。

## 住民要望について

**質問** ①今年度から、町民税が各種控除の廃止や縮小等により、前年度まで非課税世帯であったところが、課税されるようになった。

町には、非課税世帯にはこれまでも福祉施策として、幾つかの助成制度や減免制度があるが、今後どのような施策をとるのか。

また、国保税の引き下げを考えると、考えはないか。

②今年の梅雨末期に、町内の河川、用水があふれる被害があったが、被害状況と、今後の対策をどのように考えているか。

③大平地区は唯一、携帯電話の不通地域だが、解消計画はあるか。

**答弁** 吉田民生部長 ①住民税の非課税者は、18年度は前年度に比べ423人(8.2%)減っているが、これは、老年者控除の廃止、公的年金控除の引き下げなどが主な原因であると考えている。

税制改正に対応した施策を講じることが困難であり、また、国民健康保険税の引き下げは考えていない。

**答弁** 朝倉産業部長 ②7月5日午後5時から1時間に29ミリの雨量が観測され、二級河川寺

川の西町地内の駐車場で冠水、清水町地内の一部で溢水があったが、幸いパトロール中に発見し、土のうを積むなどの作業を行い、被害の拡大防止に努めた。

現在、管内では7カ所の重要水防区域を指定しているが、水防体制として、大雨洪水警報などの気象情報の確実な把握と、町内のパトロールの実施及び主要水門の調整などを行っており、今後とも関係機関と連携を図りながら早期対応に努めたい。

③費用対効果なども含め、調査・検討したい。

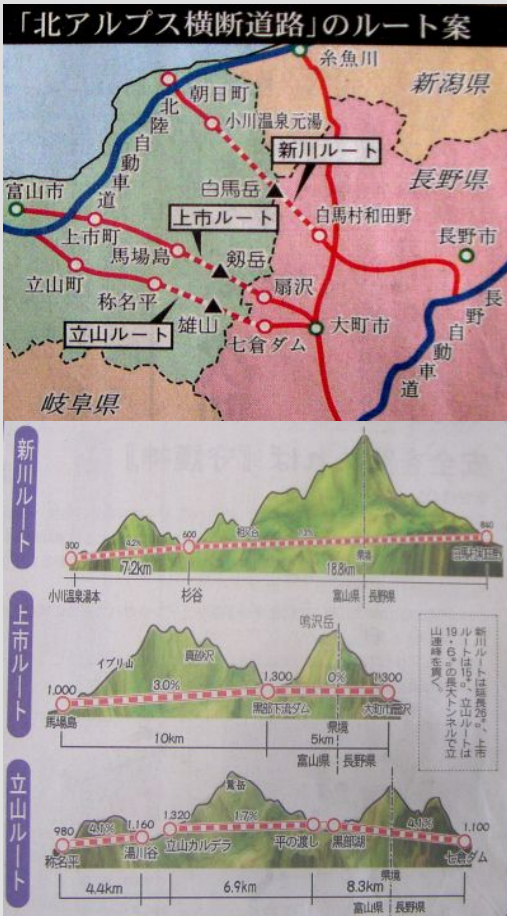
**再質問** これまでシルバータクシー券を支給していた世帯には、引き続き支給してもいいと思う。また国保税、介護保険料は、町独自で住民の負担を軽くすることはできるので軽減すべきである。





# 北アルプス横断道路について

水野 仁 士



**質問** 県総合計画審議会で、長野県、富山県を結ぶ北アルプス横断道が了承されたが、県内には立山ルート、上市ルート、新川ルート案があり、新川ルートを推進する日本海関東首都圏連絡道路建設構想推進会議を、どう取り組むか。

**答弁** 竹内総務部長 4年に新川地域2市3町の首長や、議長及び県議会議員等による、日本海関東首都圏連絡道路建設構想推進会議が設立され、6年には必要性調

査報告を作成し、また朝日町・長野県白馬村議員連絡協議会も設立され、新川・大北直結道路の必要性等について協議がされてきた。昨年4月に県東部地域産業活性化議員協議会が開催され、CDの試写や意見交換が行われ、首都圏への経済効果や広域観光はもとより、県全体の活性化のためには、3ルートの本一化を図り、県のプロジェクトとして推進していく必要があるとの意見が大勢であった。

また、日本海関東首都圏連絡道路建設構想推進会議では、ことし8月にも横断道路構想の推進を県の総合計画に明記することや、3ルートある構想の本一化への調査・研究を行い、国に働きかけるよう要望書を県知事に提出した。

町としては、当町議会の議員全員で構成される日本海関東首都圏連絡道路構想対策特別委員会や、日本海関東首都圏連絡道路建設構想推進会議での議論を踏まえ、実現に向け積極的に取り組むとともに、新川ルートの必要性和優位性をアピールしていきたい。

## 山林について

**質問** ① 荒廃した山林などに対して、どう考えているか。

② 治山造林事業を推し進める中で、二年頃、山崎地内の一部で保安林指定を受けようとしたが、全員の承諾印がそろわず、立ち消えになっているが手助けできないか。

③ 町道湯の瀬北又線の、部分的な道路開放が必要と考えるが。

**答弁** 朝倉産業部長 ① 県単独森林整備事業や間伐事業等を導入しており、具体的には新川森林組合を通じて申請してもらい、整備

区域の取りまとめを行っている。

② この制度は、税法上の優遇措置や、植林や除伐、下刈り等が県事業として実施される反面、山林所有者が勝手に立ち木の伐採や、土地の形状変更ができない等の制限を受けるため、すべての地権者の承諾を得て保安林指定申請することが不可欠である。

③ 当路線は、全長20.5キロの山岳道路で、尾安谷は起点より2.6キロメートル地点だが、今年2月には起点付近で法面崩壊が発生し、本年も尾安谷近くで山腹崩壊が発生しており、現段階での尾安谷までの道路規制解除は困難である。

造林やダム管理、山小屋関係者など、常時通行される方には、事前に通行許可証を交付している。

**再質問** 境界等がわからない場合などの支援策はあるか。

**再答弁** 朝倉産業部長 1つの手法として、地域森林管理整備事業として、測量を実施して境界杭を設置し、管理簿を作成するものがあるが、対象地は間伐の実施やそれを予定する森林、集団化事業を実施した森林等に限られ、土地の境界のみを確定する事業制度は現在のところはない。

## 人口定住対策について

齋田 諄

**質問** ①民間による宅地開発の現状と、業者への働きかけは。

空き地、空き家の活用をどう考えているか。  
②5年7月に販売開始した、よこお団地の販売状況と、今後の売却見通しは。

**答弁** 竹内総務部長

①朝日町宅地開発民間活力導入事業補助金交付要綱に基づき、昭和8年から平成22年の間に、9団地152区画の造成がされ、区画内道路の舗装路盤工、公園緑地広場の整備及び植栽、団地内の側溝整備に補助金を交付し、総額約3,064万円の補助を実施してきた。定住促進、地域活性化の観点からも、空き家、空き地の対策に積極的に取り組む必要がある。

効果的な活用を図るには、実態把握や、所有者、占有者の物件



よこお団地内の住宅

に対しての意向調査が前提で、自治振興会や地域の方の理解と協力が不可欠と考える。

具体的な取り組みについては、

他の自治体の先例などを参考にしながら、空き家等情報提供システム等について、検討したい。

**答弁** 朝倉産業部長

②現在の販売状況は3区画で、うち入居者数は8世帯、建設中の住宅が1世帯で、大半は3代と比較的若い年代層の購入となっている。

販売成果が思うようにならないうので、販売促進を重要課題とし、その対策を検討している。

**再質問**

何年かめどをつけ、対策を講じることが必要ではないか。

**答弁** 町長

町のPRが少し足りない気がするのですが、いま一度努力をしたい。

## 農業安定対策について

**質問** ①品目横断的経営安定化対策の実施に当たり、町内の組織の設立見通しは。

大型化、省力化が進む農業機械導入への支援が必要と考えるが。

②転作率が30%になっているが、今後の見通しと、転作作物の品目の決定や審議はどこで行うのか。

**答弁** 朝倉産業部長

①現在、幾つかの集落において、集落営農組織設立に向けた準備や協議が行われており、また数名の方が認定農業者への申請を検討されている。

農業機械の導入支援対策においては、地域農業担い手育成推進事業や、集落営農緊急育成事業などによる助成制度、資金融資制度などがあり、認定農業者や集落営農組織の方に、この制度の活用を含め、周知を図りたい。

②転作率は、2年度から米の需給調整が農業者や、農業団体の主体的な需給調整システムに移行し、今後の生産目標数量は、前年産米の販売実績数量により決定されるので、生産目標数量が減れば転作率が増えることになり、売れる米づくりをより一層推進していくことが重要となる。

転作作物の品目や助成単価は、町や農協、農業者の代表などで構成する朝日町水田農業推進協議会で審議し、決定をしている。

**再質問**

担い手農家と、集落営農組織が競合する状況に置かれることになるので、お互いに手を組める状況づくりをお願いしたい。

また、集落営農を立ち上げるための、大型農機具の購入には補助事業があるとのことだが、大きな支援をお願いしたい。

転作率が増えていく可能性があるとのことだが、大豆を植える現状の中で、地力低下は免れなく、いい知恵を出してほしい。

# 児童、医療等福祉施策について

稲村 功

## 質問

①県の県単独医療費助成制度は、妊産婦、乳児、ひとり親の家庭、5歳未満重度障害、6歳から9歳軽度障害は窓口無料で、幼児の通院と入院、9歳以上中度障害は償還払いと、所得制限なしで実施されているもので、全国に誇れる福祉医療制度である。

制度の継続を、県に要望すべきであると考えている。

②第2児童館建設が必要と思うが、  
③文部科学省と厚生労働省は、来年度の概算要求で、「放課後子どもプラン」の創設予算を盛り込んだと新聞報道されたが、町の考えは。

## 答弁 吉田民生部長

①県では、「医療費助成制度のあり方懇談会」が設置され、8月28日に知事に中間報告が提出された。

これを受け県は、本年2月から国の制度改革への対応について9歳以上の重度障害者の、患者負担無料は継続し、6歳以上の中度障害者は2割から3割に引き上げ

られるが、従来どおり2割助成とし、引き上げられた1割は患者負担となり、19年4月1日から施行する。

9歳から9歳の軽度障害者は、2割の助成はやめ、引き上げられた1割部分を含めて負担3割となり、施行日は本年2月1日となる。今般の改正は、時代のすう勢だと考える。



児童館で遊ぶ子ども達

②第2の児童館の建設については、今のところ考えはない。  
③児童の健全な遊び場として、地域の公共的な施設の有効活用を考慮しながら、子どもたちのよりよい環境づくりに努めたい。

## 環境問題について

### 質問

東部清掃センターの取り壊しと、跡地利用の考えは。

### 答弁 竹内総務部長

8月2日に入札が行われ、熊谷組・小川建設工業・竹田建設新川広域圏事務組合旧東部清掃センター解体工事共同企業体が2億1,525万円で落札し、翌2日付で仮契約され、工事期間は19年3月30日までである。

跡地利用は、現在のところ計画は立っていない。

## 病院経営について

### 質問

19年度朝日町病院事業決算において、10億円余りの赤字が計上されたが、その原因について説明を求める。

病院利用者の間に、帰りの交通の便を求める声が多いので、公共バスの増設などの対策を図るべきと思うが。

### 答弁 九里総合病院事務部長

10億円余りの欠損金が生じた理由は、旧病院の取り壊しに伴う減価却未処理額5億9,297万円の特別損失、同じく取り壊しに伴う廃棄した医療機器の減価償却後の残存価格1億1,326万円を資産減耗費に計上したこと。

さらに、新病院の建設に要した消費税額3億3,696万円を雑損失に一括計上したことで、合計額3億4,320万円を実際に現金を支出したわけではないが、地方公営企業法に基づいて、経理したことにより生じたものである。公共バスの増設は、費用対効果を考えてと困難である。



公共バスを利用する病院利用者

## 住民要望について

梅澤 益美

### 質問

①倒壊寸前の家などたくさんあり、困っている町内があるが、町として解決策はないか。

②町の空き地や空き倉庫、空き家などを利用して、資源物回収広場をつくることはできないか。

### 答弁 竹内総務部長 建築基準

法で、「建物の所有者、管理者又は占有者は、その建築物の敷地、構造及び建築設備を常時適法な状態に維持する」ことが規定されており、私有財産については自己管理が原則であり、所有者等のモラルに頼る部分が大いことから、まず廃屋の周囲に与える影響や、法の遵守等について周知・啓発していくことが基本であると思う。

所有者が把握できない場合や、難しい物件についての相談があれば、行政としても自治振興会や住民の協力のもと現地調査や、また危険であれば、その所有者などを確認しながら指導を行うなど対処したいが、個人の財産という難しい問題であり、顧問弁護士等にも

相談しながら検討していきたい。

### 答弁 吉田民生部長

②開設日の朝から夕方までの幅広い時間帯に利用できる便利さなどから、資源物回収広場の利用者は増加傾向にあり、資源物の回収量も年々増加してきている。

一方、リサイクル団体による資源物の回収量は、この年度の273トンとピークとなっており、対ピーク時の約5%に減少している。

町が奨励するリサイクル団体の回収量が増えれば、持ち込みも減ってくることも考えられる。

また、空き家などを利用し、設置していくことも1つの方法と考えられるので、地域の方とよりよい回収方法を考えていきたい。



朝日町商工会館の横にある明治記念公園（中町地内）

## 明治記念公園について

### 質問

明治記念公園の建物と芝生広場について、何か計画を考えているか。

### 答弁 竹内総務部長 明治記念

館は明治二年、明治天皇の北陸御巡幸に当たり、宮内庁から伊東祐明氏の邸宅が行在所に指定され、同年9月28日に明治天皇が宿泊された建物である。

その後、大正時代に伊東家より土地、建物が旧泊町へ寄附をされ、現在は町で管理を行っている。

昭和8年に、史蹟名勝天然記念物保存法により、文部大臣より史蹟の指定を受けたが、昭和23年に指定が解除された。

明治記念館は、長い年月が経過し、建物のいたるところが破損、腐食するなど老朽化が進んでいるが、雨戸や壁板の修復や屋根の雪おろしなどを行い、維持管理に努めている。

また、敷地内の公園についても、より利用しやすく親しみの持てる公園とするため、周辺の雑木の枝切りや害虫防除を実施し、定期的な除草や清掃を行い、町民の憩いの場としての公園づくりに努めている。

今後の明治記念館については、老朽化が進んでいることから、その存続のあり方について検討したい。

常任委員長報告

総務産業委員会

当委員会は9月20日、21日の両日、午前3時から開催し、町道湯の瀬北又線災害復旧箇所現地調査を行い、議会から付託されました9議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。



9月28日に有害鳥獣捕獲隊が駆除した月の輪熊(宮崎地区)



陳情者の説明を受ける総務産業委員会

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1 有害鳥獣対策については、今後とも、各地区有害鳥獣対策協議会及び猟友会と連携し、適切な措置を講じらねばならない。

次に、陳情の審査結果を申し上げます。

今期定例会において、議会から付託されました「陳情」2件のうち、「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情については、願意妥当と認め、採択すべきものと決し、トンネルじん肺根絶の抜本的対策を求める陳情書については、継続審査とすることに決しました。

民生教育委員会

当委員会は9月20日、21日の両日、午前3時から開催し、あさひ総合病院、ケアハウス・介護老人保健施設の現地調査を行い、議会から付託されました9議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1 学童保育の環境作りを調査・研究されたい。
- 2 あさひ総合病院にあつては、さらなる医師、及び看護師の確保に全力を傾注されたい。また、



介護老人保健施設(つるさんかめさん)



あさひ総合病院(回復期リハビリテーション病棟)

患者サービスのためにも交通手段の確保等、関係機関と協議されたい。

以上、ご報告申し上げます。民生教育常任委員会の審査報告を終わらせていただきます。

# 議会日誌

## 七月

- 4日 黒部川治水同盟会総会  
(入善町)
- 緑資源幹線林道朝日・大山線朝日魚津間建設促進協議会総会(魚津市)
- 朝日滑川間国道バイパス建設促進期成同盟会総会(魚津市)
- 7日 東部山麓道路建設促進期成同盟会総会(魚津市)
- 新川中部地区農免農道整備事業促進協議会総会(魚津市)
- 7日 議会運営委員会
- 20日 新川地域推進協議会(黒部市)
- 水博物館(仮称)構想推進協議会(黒部市)
- 魚津朝日間湾岸道路建設促進期成同盟会総会(黒部市)
- 日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議総会(黒部市)
- 下新川海岸整備促進議員連盟総会(黒部市)
- 12日 第3回議会臨時会

## 八月

- 25日 全員協議会  
議員協議会
- 25日 国県重要要望(富山市)
- 26日 議会だより編集委員会
- 17日 主要地方道黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会(入善町)
- 主要地方道朝日宇奈月線改良促進期成同盟会総会(入善町)
- 21日 県町村議会議長協議会(富山市)
- 28日 新川地域推進協議会県要望(富山市)
- 29日 議員協議会
- 第4回議会臨時会
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 4日 議会運営委員会
- 議員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 13日 第5回議会定例会(提案理由説明・質疑)
- 14日 議会運営委員会

## 九月

- 19日 本会議(一般質問)
- 20日 総務産業常任委員会
- 20日 民生教育常任委員会
- 21日 総務産業常任委員会
- 21日 民生教育常任委員会
- 25日 議会運営委員会
- 本会議(委員長報告・討論・採決)
- 議員協議会
- 全員協議会



## 編集 後記



この度8月の改選期で、議員数が2名から10名となりました。町の財政は厳しいものがありますが、町当局と心をつなにして、町の発展と新川地域の更なる隆盛を願って、努力して行かねばと思っております。

町民のニーズも多様化するなか、市町村合併や企業誘致等の希望も多く、また町民一人一人の目が各議員に向けられており、以前にも増して、議員活動に励まなければと思っております。

本議会の内容は、議会だよりを初め、今ではCATVにより家庭で見ることができ、住民の方からいろいろな声を聞くことができるようになりました。

10名の議員が一丸となり、がんばりますので、町民の皆様の一歩と厳しいご指導、鞭撻を願ひし、お礼の言葉といたします。

### ◇ 議会だより編集委員

- 中陣将夫 吉江守熙
- 大森憲平 水野仁士
- 水島一友 脇四計夫